

第 4 部 資料編

第4次原村総合計画後期基本計画 策定経過

年 月 日	内 容
平成22年 8月 5日	第4次原村総合計画後期基本計画策定委員会（第1回）
10日	住民アンケート調査（～9月10日）
26日	村づくり寄り合い所（テーマ：人と自然を大切にしたい住みよい村づくり）
27日	村づくり寄り合い所（テーマ：人と文化を育む村づくり）
28日	村づくり寄り合い所（テーマ：環境と共生した活力ある村づくり）
11月 2日	村づくり寄り合い所（テーマ：計画推進の方策）
4日	村づくり寄り合い所（テーマ：健康としあわせを誇れる福祉の村づくり）
9日	第4次原村総合計画後期基本計画策定委員会（第2回）
29日	住民懇談会（柳沢公民館）
12月 2日	住民懇談会（ハヶ岳自然文化園）
6日	第4次原村総合計画後期基本計画（素案）に対する意見募集（～24日）
7日	住民懇談会（柏木公民館）
9日	住民懇談会（室内公民館）
13日	住民懇談会（中新田稲転研修施設）
平成23年 1月13日	第4次原村総合計画後期基本計画策定委員会（第3回）
21日	平成22年度第1回原村振興計画審議会
28日	平成22年度第2回原村振興計画審議会
2月 8日	平成22年度第3回原村振興計画審議会
15日	平成22年度第4回原村振興計画審議会
22日	平成22年度第5回原村振興計画審議会 第4次原村総合計画後期基本計画（案）について答申
28日	第4次原村総合計画後期基本計画策定委員会（第4回）
3月 8日	原村議会へ報告

原村振興計画審議会 委員名簿

（任期：平成23年1月20日～平成25年1月19日）

選 出 区 分		氏 名	備 考
村議会議員	原村議会議員	木下 貞彦	会 長
	原村議会議員	小池 啓男	
	原村議会議員	長谷川 寛	
農業委員会委員	原村農業委員会会長	小平 雅彦	
農業協同組合役員	信州諏訪農業協同組合生産生活委員会委員長	伊藤 幸徳	
商工会役員	原村商工会会長	五味 光亮	
識見を有する者	原村教育委員会委員長	鎌倉 光彌	
	原村民生児童委員協議会会長	五味 勇吉	
	原村保健衛生自治推進協議会会長	小林 庄三郎	
公募による者		木下 厚	
		池 律子	副会長
		小倉 佳美	

平成23年2月22日

原村長 清水 澄 様

原村振興計画審議会
会長 木下 貞彦

第4次原村総合計画後期基本計画（案）について（答申）

平成23年1月20日付け22原推進第107号で諮問のあったこのことについては、当審議会の意見は別紙のとおりです。

なお、本計画の実施にあたっては、下記の事項に十分留意して「人も地域も輝く緑豊かな原村」の実現に向けて努力されたい。

記

- 1 本計画の内容を住民に周知し、住民の理解を得たうえで住民、事業者及び原村が一丸となって取り組まれない。
- 2 内容が極めて多岐にわたるので、実施にあたっては緊急度を十分精査し、優先順位をつけて確実に成果を出すこと。
- 3 本計画の進捗状況を確認し、評価・検討を行うこと。

用語の解説

	単 語	頁	説 明
1	3R	52、53	Reduce, Reuse, Recycle の 3 つの R。ゴミの排出量を削減する (Reduce)、使えるものを再使用する (Reuse)、資源として再度使用できるものを再資源化する (Recycle) こと。
2	8020 運動	170	80 歳になっても自分の歯を 20 本以上保っていようという運動。
3	ISO14001	62	国際標準化機構 (ISO) が定める ISO14000s (シリーズ)。『環境マネジメントシステム規格』のうちの中核となるもの。ISO14001 は、環境にやさしい事業や業務をどのように進めるべきか (環境マネジメントシステム (EMS)) を定めた仕様書。
4	MC (メディカルコントロール協議会)	106	医学的視点から救急隊員が行なう応急措置などの質を向上させるために、消防主管部局、衛生主管部局、医師会、救急救命センターなどの代表者、消防機関などによって構成される機関。
5	PS 素材プラスチック	52	ポリスチレンを材料としたプラスチック製品。食品トレイなどとして使用される。
6	T・T 制	130、131	Team Teaching の略。学級担当教員が進める授業にチームを組む他の教員が入り、習熟度などに合わせて担当教員を助力しつつ行なう授業の携帯。
7	VP 管	66、67	硬質塩化ビニル管のこと。
8	起債制限比率	286	公債費から地方交付税で措置される公債費を差し引いた値を、標準財政規模から地方交付税で措置される公債費を差し引いた値で割った数値の、過去 3 ヶ年の平均値。20%を超えると地方債の許可が一部制限される。
9	経常収支比率	286	税などの一般財源を、人件費や扶助費、公債費など経常的に支出する経費にどれくらい充当しているかをみる数値。財政の健全性を判断する。
10	BOD 雨水	68	河川、湖沼の水質汚染度合を示す数値が BOD。生物化学的酸素要求量の略。降雨初期に田畑から肥料分の濃度が濃い雨水が流れ出すことにより、河川、湖沼の水質汚染源となる。
11	国保ヘルスアップ事業	194	糖尿病等の生活習慣病の一次予防を中心に位置付け、被保険者の自主的な健康増資及び疾病予防を推進する事業。
12	コンベンションビューロ	228	会議、イベントなどを地域に誘致、支援するための組織、団体。

	単 語	頁	説 明
13	財政力指数	286	地方公共団体の財政基盤の強弱を示す指数。標準的な行政活動に必要な財源をどれくらい自力で調達できるかを表している。普通交付税の算定基礎となる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3ヶ年平均値。
14	石綿管	66	石綿セメント管のこと。世界保健機関（WHO）が策定・公表している飲料水水質ガイドラインにおいて、飲料水中のアスベストについては「健康影響の観点からガイドライン値を定める必要はないと結論できる。」とされている。
15	タイムケア事業	184	家庭において一時的に介護できない場合に、登録介護者が介護サービスを提供する事業。
16	電子メール登録システム	133	緊急情報を、あらかじめ登録されているインターネットや携帯電話の電子メールアドレスへ送信すること。
17	バランスシート	286	行政の会計を企業会計で利用している貸借対照表（バランスシート）の考え方を利用して表したもの。財政状況を分かりやすく説明するための手法のひとつ。
18	マネジメント対策	240	事業経営に関する支援、個々の事業者の経営力を向上させる支援。
19	山登り現象	208	高い価格で販売できる品種が、本来の栽培適地より北の地域や標高の高い、気温が低いところへと栽培範囲が広がる現象。
20	レファレンス（調査・相談）サービス	116、117	図書に関する情報を求めている利用者に対し、より速く、より適切な情報が得られるよう、直接手助けをするサービス。